

**JL** Japan Lifeline



第40期  
報告書

2019年4月1日▶2020年3月31日

...for patient comfort.

証券コード：7575

## ■ ごあいさつ



株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

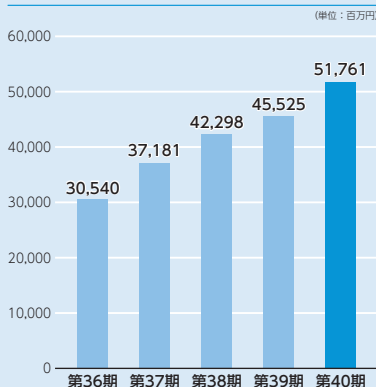
2020年3月期におきましては、主力であるリズムデバイスにおいて、2019年9月よりボストン・サイエンティフィック社製CRM（心調律管理）関連商品の全面的な販売を開始したことにより、長らく課題であった頻脈治療領域の強化が実現いたしました。さらにEP/アブレーションをはじめとする自社製品が堅調に推移したことから、保険償還価格の引下げや一部商品の取り扱い終了による影響を吸収し、二桁増収となりました。当社といたしましては、自社製品の海外展開や循環器以外の新領域の開拓に注力し、中長期にわたる持続的な成長に向けた基盤強化を図り、さらなる企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

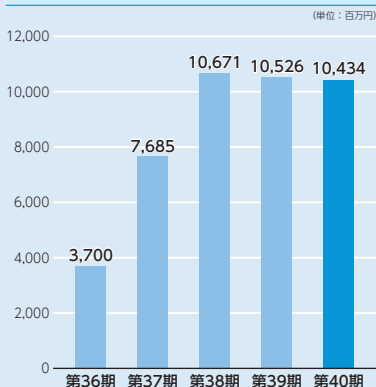
代表取締役社長 **鈴木 啓介**

### 主要連結財務データ

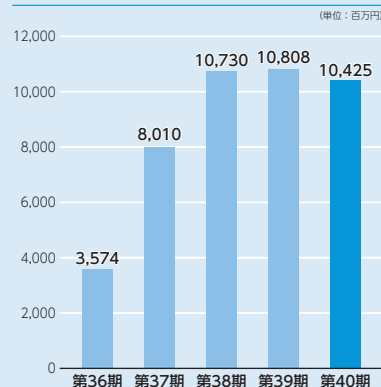
#### 売上高



#### 営業利益



#### 経常利益



## 2020年3月期 決算のポイント

- ・リズムデバイスでのBSC社製CRM関連商品の大幅な伸長により二桁増収
- ・保険償還価格の引下げ等による売上総利益率の低下、販管費の増加により、営業利益は前期水準に留まる

### —2020年3月期決算の概要—

当期の販売実績といたしましては、リズムデバイスにおいて、2019年9月にポストン・サイエンティフィック（以下、BSC）社製CRM関連商品へ切り替えが完了し、頻脈治療関連商品が大幅な売上の増加に寄与したほか、EP/アブレーションでは、心房細動のアブレーション治療の症例数増加により、関連商品が堅調に推移いたしました。外科関連では、自社製品のオープンステントグラフトが好調であったものの、一部商品の取り扱いを終了したことにより売上高は減少いたしました。一方、インターベンションでは、薬剤溶出型冠動脈ステントが売上の増加に寄与いたしました。

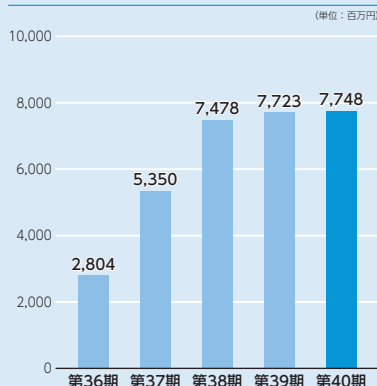
利益面におきましては、2019年10月の保険償還価格の引下げによる影響に加え、同年8月まで先行的に販売を行ったBSC社製のS-ICD（完全皮下植込み型除細動器）の利益面への寄与が一時的に低かったこともあり、売上総利益率は前期に比べ4.7ポイント低下いたしました。販売費及び一般管理費におきましては、ポストン・サイエンティフィック ジャパン社に対する営業支援金の支払や契約金の償却費用等により、営業利益は前期並みの水準となりました。

### —新型コロナウイルス感染症による影響及び業績・配当予想について—

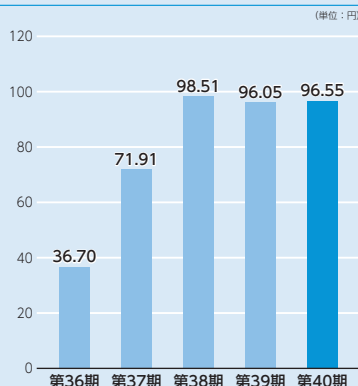
新型コロナウイルス感染症の拡大により、医療機関では、感染者への対応を優先するため待機的な手術を延期する等の対応がとられていることから、足元では販売への影響が生じております。一方、商品のサプライチェーンにおきましては、仕入商品に関して一定水準の国内在庫を確保しているほか、自社製品については国内工場が通常通り稼働しており、現時点において調達・生産面における影響は生じておりません。

新型コロナウイルス感染症の終息時期はいまだ不透明であり、業績への影響を合理的に算定することが困難であることから、2021年3月期の業績予想及び配当予想を未定とさせていただきます。現段階では、第1四半期決算発表時には公表できるものと想定しております。なお、当社は安定配当を配当政策の基本方針としていることから、事業展開に必要な内部留保を行いながら、安定的な配当を継続的に実施できるよう努めてまいります。

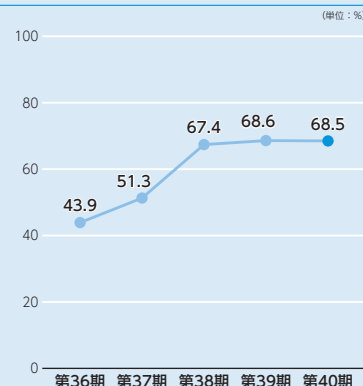
### 親会社株主に帰属する当期純利益



### 1株当たり当期純利益※



### 自己資本比率

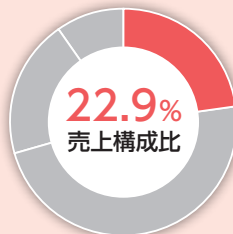


※2015年10月1日付、2016年12月1日付及び2018年1月1日付で、普通株式1株につき、2株の割合でそれぞれ株式分割を行っております。第36期期首にこれらの株式分割が行われたと仮定し、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

# 品目別売上高

## リズムデバイス

売上高**11,866**百万円  
(前期比**102.4%**増▲)



不整脈を治療する植込み型の医療機器を扱う

### ▼主要取扱品目

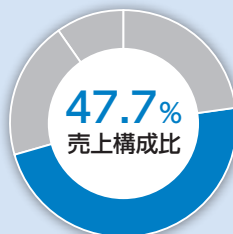
- ・心臓ペースメーカー
- ・ICD (植込み型除細動器)
- ・S-ICD (完全皮下植込み型除細動器)
- ・CRT-P (両心室ペースメーカー)
- ・CRT-D (除細動機能付き両心室ペースメーカー)



心臓ペースメーカー

## EP/アブレーション

売上高**24,696**百万円  
(前期比**7.1%**増▲)



不整脈の検査や治療を行う電極カテーテルを扱う

### ▼主要取扱品目

- ・EP (電気生理用) カテーテル
- ・アブレーションカテーテル
- ・内視鏡レーザーアブレーションカテーテル
- ・心腔内除細動カテーテル
- ・食道温モニタリングカテーテル
- ・高周波心房中隔穿刺針



心腔内除細動カテーテル

## 外科関連

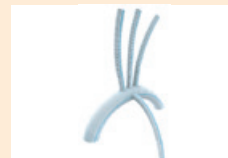
売上高**10,166**百万円  
(前期比**13.3%**減▼)



血管や心臓の弁を置き換え治療する医療機器を扱う

### ▼主要取扱品目

- ・人工血管
- ・オープンステントグラフト
- ・ステントグラフト
- ・人工心臓弁
- ・人工弁輪
- ・血液浄化関連商品



人工血管

## インターベンション

売上高**5,032**百万円  
(前期比**3.3%**増▲)



心筋梗塞等を治療するカテーテル等の医療機器を扱う

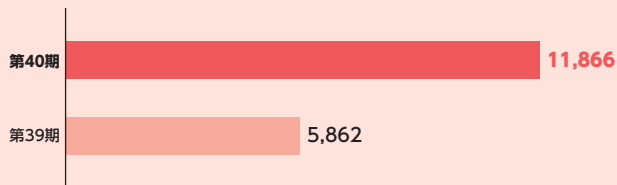
### ▼主要取扱品目

- ・バルーンカテーテル
- ・ガイドワイヤー
- ・貫通用カテーテル
- ・心房中隔欠損閉鎖器具
- ・薬剤溶出型冠動脈ステント
- ・血管内圧測定用センサ付ガイドワイヤー



ガイドワイヤー

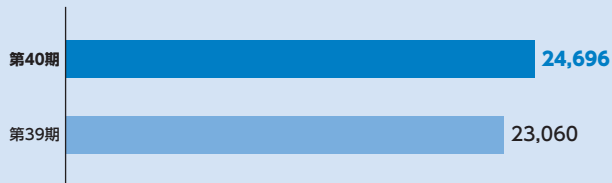
売上高 (百万円)



#### BSC社製CRM関連商品の全面的な販売開始を受け売上高が倍増

- ペースメーカー関連は、2019年9月よりボストン・サイエンティフィック (BSC) 社製品の取り扱いを開始し、販売数量を伸ばしました。
- ICD関連は、2019年4月より先行販売を開始したBSC社のオンリーワン製品であるS-ICD [EMBLEM MRI S-ICD] に続き、同年9月よりICD、CRT-Dが商品ラインナップに加わり、頻脈治療関連商品の売上高が急速に増加しました。

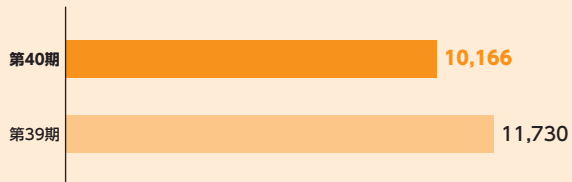
売上高 (百万円)



#### 症例数の増加に伴い心房細動関連商品が伸長

- 心房細動のアブレーション治療の症例数増加を背景に、オンリーワン製品である心腔内除細動カテーテル [BeeAT] 等の関連商品の販売が堅調に推移しました。
- 一般的なEPカテーテル及び食道温モニタリングカテーテルは、前期に比べ売上高が微減となりました。
- 内視鏡レーザーアブレーションカテーテル [HeartLight] は、医療現場への浸透が進み、販売数量が増加しました。

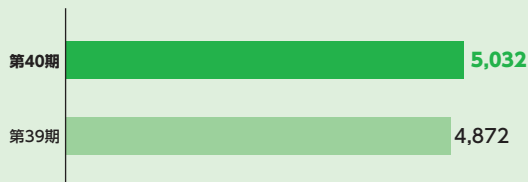
売上高 (百万円)



#### 大動脈治療領域の自社製品の伸長が続く

- オンリーワン製品であるオープンステントグラフト [FROZENIX] が、緊急性の高い症例にも積極的に使用され伸長しました。
- 自社製品の人工血管 [J Graft] は、オープンステントグラフトとの併用による相乗効果のほか、腹部用製品の拡販が奏功し、販売数量が増加しました。  
(2019年3月に胸部用ステントグラフト、同年5月に人工心臓弁関連商品の取り扱いを終了しました。)

売上高 (百万円)



#### ガイドワイヤー、薬剤溶出型冠動脈ステントが売上高の増加に寄与

- 自社製品のガイドワイヤーは、操作性と安全性に優れた [Amati] が医療現場で高く評価され、売上高が増加しました。
- 薬剤溶出型冠動脈ステント [Orsiro] は、海外での良好な臨床試験結果の訴求、国内臨床研究等の取り組みにより伸長しました。
- 新領域の開拓として、自社製品技術を応用し開発した、肝癌治療用ラジオ波焼灼システム [arfa] の販売を開始しました。

## ■ 事業における主な取り組み

### リズムデバイス

#### ボストン・サイエンティフィック社製CRM関連商品の全面的な販売を開始

2019年4月より先行販売を開始したオンリーワン商品であるS-ICD（完全皮下植込み型除細動器）に加え、同年9月より同社のCRM（心調律管理）関連全製品の販売を開始しました。S-ICDをはじめとする同社のCRM領域を幅広くカバーする優れた商品群を取り扱うことにより、ほぼ徐脈治療のみであった販売構成からの脱却が実現し、不整脈治療分野における事業基盤の強化が大きく進展しました。頻脈治療では既にトップクラスの市場シェアを獲得していますが、徐脈治療につきましても更なる市場シェアの獲得を目指していきます。



完全皮下植込み型除細動器  
[EMBLEM MRI S-ICD]

### EP/アブレーション

#### 自社製品の改良を進めるとともに、海外展開にも注力

心房細動のアブレーション治療における関連商品の販売が増加するなか、製品改良にも積極的に取り組んでいます。オンリーワン製品である心腔内除細動カテーテル「BeeAT」用の新型ジェネレータ「Shock AT α」を2020年2月に上市しました。今後も医療現場のニーズに基づく製品改良を行うことで、オンリーワン製品の性能をさらに高めていきます。また、一部の自社製EPカテーテルにつきましては、ノックダウン方式による北米市場への輸出を開始しました。現時点での業績寄与は限定的ではありますが、自社製品の海外販売の拡大へ向け、今後も積極的に取り組んでいきます。



心腔内除細動カテーテル「BeeAT」用  
新型ジェネレータ  
[Shock AT α]

### 外科関連

#### オープンスtentグラフトがCEマークを取得

胸部大動脈疾患の開胸手術に用いられる医療機器であり、当社のオンリーワン製品であるオープンスtentグラフト「FROZENIX」が、2020年3月にCEマークを取得しました。当社は、自社製品の海外展開を中長期における重要課題と位置づけており、2017年の台湾進出に続き、CEマーク取得により、欧州市場への販路の拡大が可能となりました。今後、現地の販売代理店との交渉を進め、早期の販売開始に向けて取り組むことにより、国内で高い評価を得ている外科関連の自社製品についても、海外展開を推し進めていきます。



オープンスtentグラフト  
[FROZENIX]

### インターベンション

#### 薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」の医療現場への一層の浸透を図る

バイオトロニック社製の薬剤溶出型冠動脈ステント「Orsiro」の販売を2018年3月より開始し、拡販に努めています。薬剤溶出型冠動脈ステントは、心筋梗塞や狭心症の治療における主要な医療機器であることから、競合各社が注力しています。そのような厳しい競争環境下ではありますが、当社は海外の臨床試験で示された優れた性能を訴求するとともに、国内臨床研究等の取り組みを通じて一定の市場シェア獲得を果たしています。全国を網羅する販売網を生かし、優れた性能を有する「Orsiro」のさらなる浸透を図っていきます。



薬剤溶出型冠動脈ステント  
[Orsiro]

## トピックス

### 社会課題に対する当社の取り組み

当社は、持続可能な社会の実現に向けて、事業を通じてESG（環境・社会・ガバナンス）を中心とした社会課題の解決に取り組んでいます。企業価値の向上を目指すことで、ステークホルダーの皆様のご期待に応えられるよう努めていきます。当社のサステナビリティに関する取り組みをウェブサイトでご紹介しています。

当社ウェブサイト 「サステナビリティ」 ページ  
<https://www.jll.co.jp/aboutus/sustainability.html>



### JLL健康宣言

当社は、企業活動を行うにあたり、従業員が健康で働ける環境を整えることが重要であるという考えのもと、健康経営へ取り組むことを宣言しました。従業員及びその家族の健康を第一に考え、以下の取り組みを進めていきます。

1. JLLは従業員の健康の維持・増進を重要な経営課題と捉え、健康と安全を最優先する組織風土の醸成を図っていきます。
2. JLLは従業員が心身ともに健康に働ける環境を、整えていきます。
3. JLLは従業員とその家族の健康づくりを、サポートしていきます。

### MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズの構成銘柄に選定

当社株式は、ESGの観点から優れた企業を選別して構成される「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」の構成銘柄として、2019年12月に選定されました。



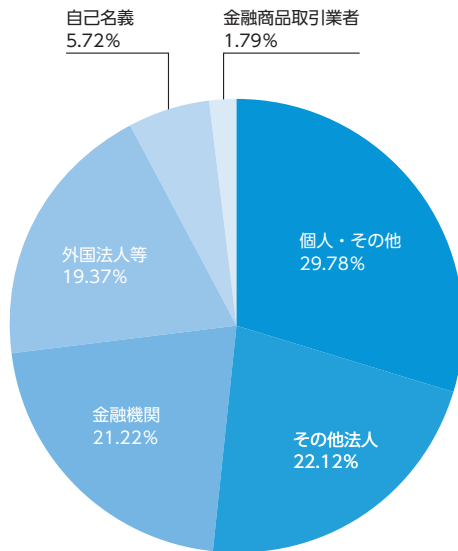
※MSCI指数への日本ライフライン株式会社への組み入れ、及び本報告書におけるMSCIのロゴ、商標、サービスマークまたは指数名称の使用は、MSCIまたはその関連会社による日本ライフライン株式会社への後援、推奨、広告宣伝ではありません。MSCI指数は、MSCIの独占的財産です。MSCI及びMSCI指数の名称及びロゴは、MSCIまたはその関連会社の商標もしくはサービスマークです。

# 株式情報

## 株式の状況 (2020年3月31日現在)

発行可能株式総数	346,400,000株
発行済株式の総数	85,419,976株
株主数	14,642名

## 所有者別株式分布 (2020年3月31日現在)

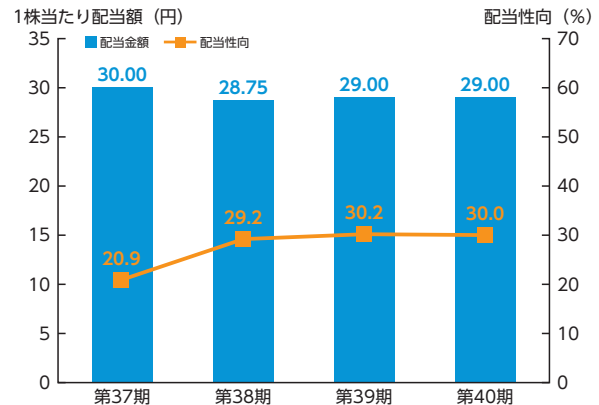


## 大株主 (2020年3月31日現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
エムティ商会株式会社	9,860	12.24
KS商事株式会社	8,609	10.69
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	5,521	6.86
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,739	4.64
鈴木啓介	2,560	3.18
THE BANK OF NEW YORK 133972	1,414	1.76
JP MORGAN CHASE BANK 385151	1,220	1.52
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	1,186	1.47
日本ライフライン従業員持株会	1,035	1.29
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	1,024	1.27

(注) 持株比率は、自己株式4,889千株を控除して計算しております。なお、自己株式には役員報酬BIP信託が保有する当社株式113千株及び信託型従業員持株インセンティブ・プランが保有する当社株式162千株は含めておりません。

## 配当実績



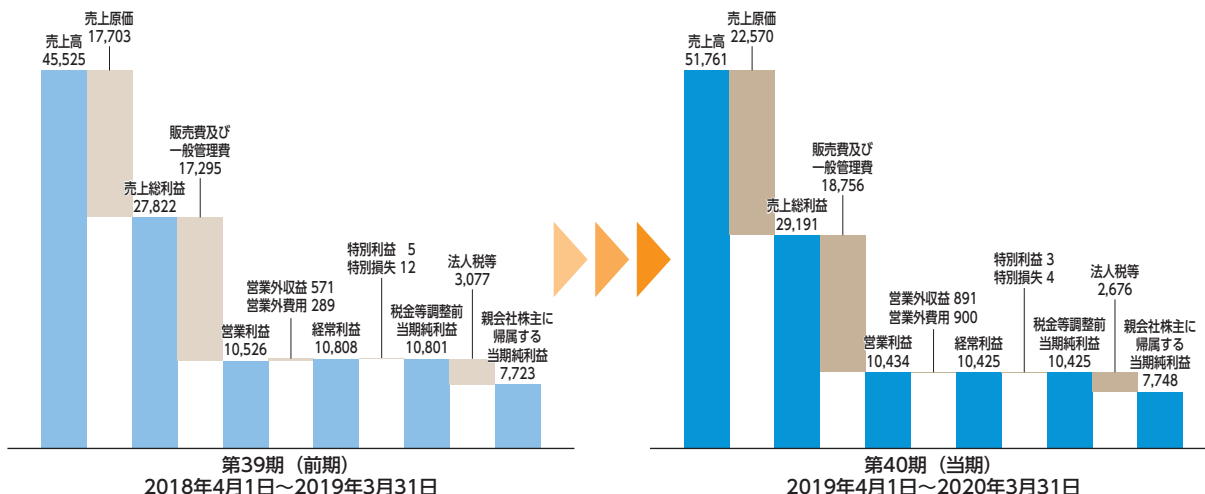
※2016年12月1日付及び2018年1月1日付で、普通株式1株につき、2株の割合でそれぞれ株式分割を行っております。1株当たり配当額においては、実際の配当額を記載しております。



# 連結財務諸表

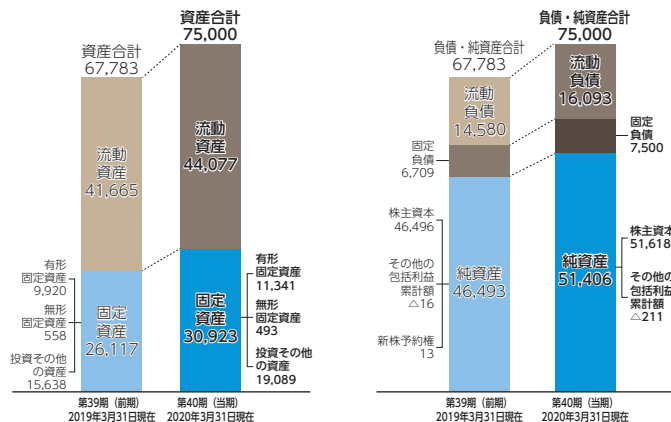
## 連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



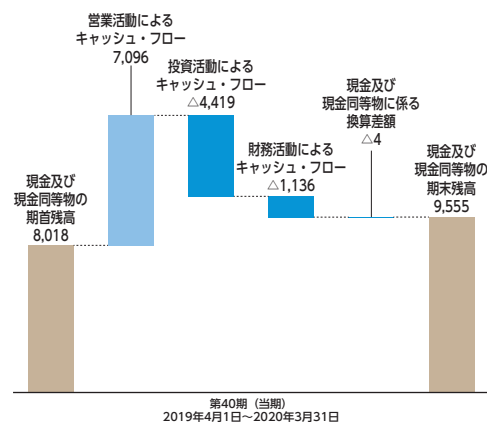
## 連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



# 会社概況

## 会社概要 (2020年3月31日現在)

商号	日本ライフライン株式会社
所在地	東京都品川区東品川二丁目2番20号
設立	1981年2月6日
資本金	2,115,241,600円
従業員数	連結1,074名 単体995名
上場取引所	東京証券取引所 第一部
連結子会社	Synexmed (Hong Kong) Limited 心宜医療器械(深圳)有限公司

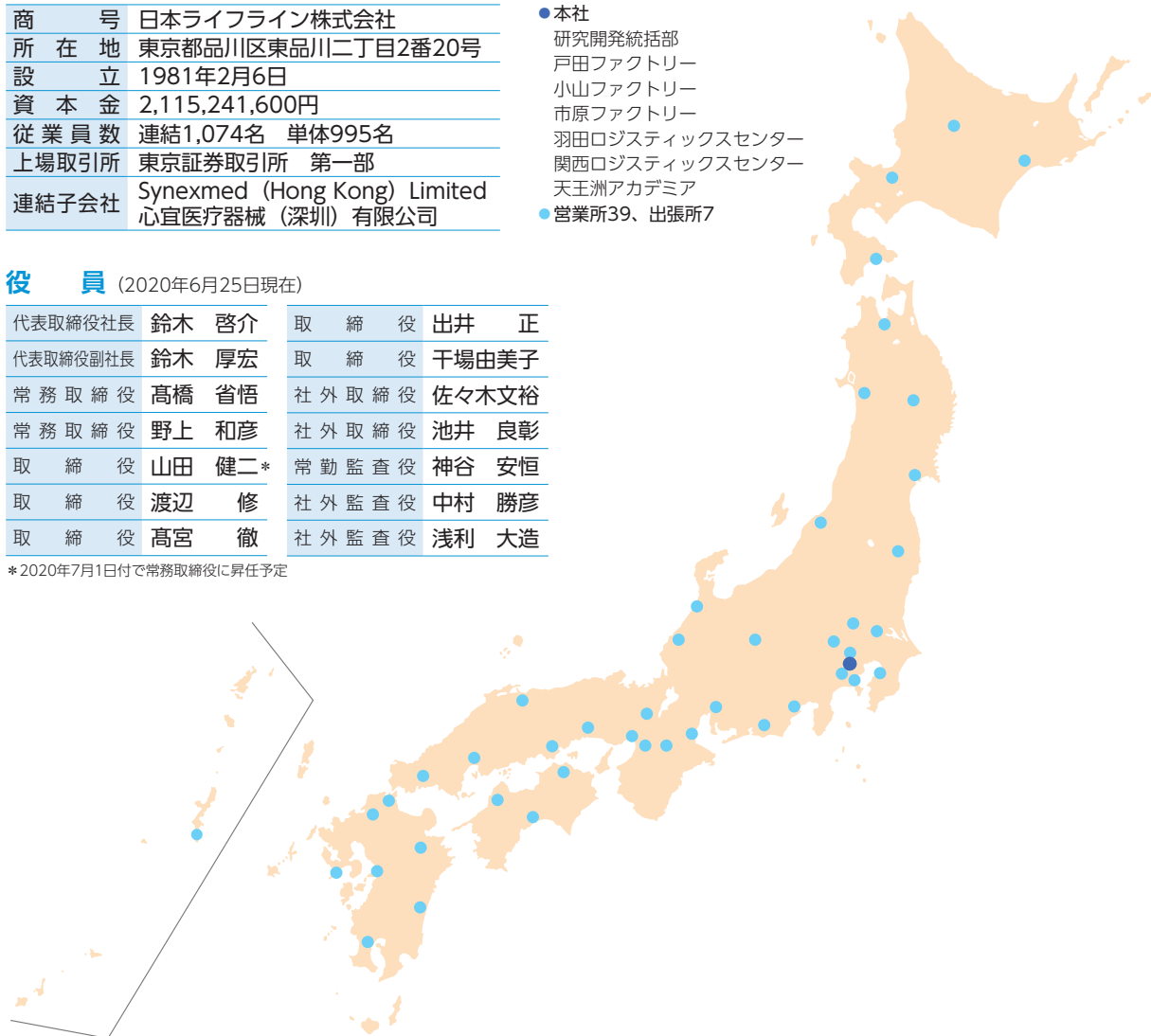
## 事業所 (2020年4月1日現在)

- 本社  
研究開発統括部  
戸田ファクトリー  
小山ファクトリー  
市原ファクトリー  
羽田ロジスティックスセンター  
関西ロジスティックスセンター  
天王洲アカデミア
- 営業所39、出張所7

## 役員 (2020年6月25日現在)

代表取締役社長	鈴木 啓介	取締役	出井 正
代表取締役副社長	鈴木 厚宏	取締役	干場由美子
常務取締役	高橋 省悟	社外取締役	佐々木文裕
常務取締役	野上 和彦	社外取締役	池井 良彰
取締役	山田 健二*	常勤監査役	神谷 安恒
取締役	渡辺 修	社外監査役	中村 勝彦
取締役	高宮 徹	社外監査役	浅利 大造

\* 2020年7月1日付で常務取締役に昇任予定



## 株主メモ



決算期	3月31日
定時株主総会	6月
単元株式数	100株
定時株主総会の 基準日	3月31日
配当金 受領株主確定日	3月31日 なお、中間配当を実施する場合の株主確定日は、9月30日といたします。
公告方法	電子公告の方法により行います。 公告掲載URL <a href="https://www.jll.co.jp">https://www.jll.co.jp</a> ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人 特別口座の 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137- 8081 新東京郵便局私書箱第29号
〈お問合せ先〉	0120-232-711 (通話料無料)
〈インターネット ホームページ〉	<a href="https://www.tr.mufg.jp/daikou/">https://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

### 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

#### 1. 住所変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取方法の指定・変更等

- ▶ 証券会社等の口座に株式をお持ちの株主様  
口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。
- ▶ 特別口座に登録された株式をお持ちの株主様  
上記特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。

#### 2. 未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本店でお支払いいたします。

本報告書の記載内容のうち、歴史的事実以外の事項につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく当社の計画または将来予測であります。実際の業績はさまざまなリスクや不確実な要因の影響により、本報告書の記載と異なる可能性がありますことにご留意ください。



## 最新の会社情報及びIR情報は 当社ホームページをご覧ください

当社の最新ニュース、製品案内及び財務情報等の株主・投資家の皆様向けの情報をご覧いただけます。

<https://www.jll.co.jp/investors/>



## IR-eNews 投資家情報メールマガジン



IRの最新情報をお届けしております。ご登録は当社ホームページの投資家情報ページよりお願いいたします。



## 日本ライフライン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川二丁目2番20号  
電話 03-6711-5200  
URL <https://www.jll.co.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォント  
を採用しています。